

「しまなび」プログラムの成果の活用について（平成 27 年度）

1 目的

「しまなび」プログラムにおいて学生が作成した成果のうち、「しま」での活用が期待できるものについて「しま」の関係者と協議し活用策を考える。

2 協議概要

①五島市



【協議月日】 3月8日（火）

【協議者】 学生4名、五島市企画・観光担当職員、
観光協会職員

②吉岐市



【協議月日】 3月16日（水）

【協議者】 学生1名、吉岐市企画・観光担当職員、
観光連盟職員

③小値賀町



【協議月日】 3月31日（木）

【協議者】 学生3名、小値賀町企画担当職員、
観光担当職員

3 その他

- 学生は、自分たちの作品が「しま」の一助になること、実際に活用が考えられること、に喜びを感じ、今後へのやる気（意欲）を出していた。
- 「しまなび」プログラムについては、大学としての教育成果は一定確保されているが、「しま」にとっての成果（メリット）は本プログラムの課題の一つである。このような活用策を通じて「しま」にとってのメリットを感じさせることは必要だと考える。

